

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社 三六屋
公演団体名	津軽三味線あべや

内容
<p>新型コロナウイルス感染症防止対策【全般】</p> <ul style="list-style-type: none">○消毒、マスク等着用の徹底 実演の際は、出演者はマスクを外しての出演となるため、ステージと児童・生徒さんの鑑賞エリアは十分な距離を取るよういたします。○出演者・スタッフの検温及び体調問診票の提出○出演者・スタッフの移動動線の限定 学校様とのご相談の上で、お借りする出演者の楽屋、トイレなど場所を限定し、入校から退館までの動線を明確に分けることに努めます○時間短縮 各校のご要望に合わせてワークショップまた本公演の実施時間を短縮することが可能です。 <p>新型コロナウイルス感染症防止対策【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none">○ワークショップ動画のご提供 ご希望に応じてワークショップの内容をダイジェストした動画をお送りし、ワークショップ日を設けずに動画による学内学習をワークショップとすることが可能です。○体験型番組の割愛 六、みんなでソーラン 八、津軽三味線を弾こう！ の割愛が可能です。○番組の変更 七、「尺八」探求 は飛沫感染防止策として実施しません。

ワークショップ・プログラム

公演時間：90分

弾トビウー！ 唄おしー！ 踊トビウー！

プロジェクターと楽しいお話で進行します!!

オリジナルで作成した映像を使用しながら、お兄さんたちの楽しいトークで進行します。

とにかくさわって体験！
みんなで、はあ～どっこい！

パート I 津軽三味線

一、津軽三味線の音色を楽しむ まずは一曲、ご挨拶！

○津軽三味線の演奏

まずは五感に響く津軽三味線の“生音”をお楽しみください。

二、津軽三味線ってなあに？ プロジェクター上映

○津軽三味線を知る (解説)

何の動物の皮や角でできているの？津軽三味線とはどこから生まれたもの？津軽三味線のルーツとは？などなど他の三味線との違いをわかりやすく解説。(プロジェクターを用いて、実物とあわせてわかりやすく解説)



○三味線の弾き比べ!聞き比べ!(三線(さんしん)・細棹三味線・津軽三味線)

日本の代表的な三味線をご紹介します。大きさも素材も異なります。また音色・奏法もそれぞれの三味線が生まれた風土や文化を反映して、全然違うんですね。

○ 津軽三味線、実は組み立てて使用する楽器

プロが使用する津軽三味線は組み立てが必要です。
津軽三味線を組み立てる様子を動画で分かりやすくご説明します。



三、弦楽器の“和と洋”を比べる

津軽三味線とギター。
同じ弦楽器でも演奏方法は大きく異なります。
両楽器を見比べて、その違いを知ってもらいます。



四、リクエスト演奏コーナー

その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。
ポップスから演歌まで何でもOK!?

でも本当はすごく難しいんですよ！

津軽三味線は3本の弦を独自音階で演奏する楽器で、ギターのようにコードやドレミで演奏できません。ポップスを弾くとなると、通常使用しない棹の場所を押えて音を結びつけていくのです。

パートⅡ 民謡

五、民謡ってなあに？



○民謡を知ろう!(解説)

日本全国津々浦々に民謡はあります。その数は数万曲とも数十万曲ともいわれます。プロジェクターに日本地図を投影して、各地域の民謡またその地方の方言や風習などを紹介します。



○民謡は旅をする?!(北前船は物だけでなく、唄も運んだ!!)

九州(天草)の漁師達の掛け声にリズムが加わったといわれる「民謡ハイヤ節」。日本海、津軽海峡、太平洋を渡る「北前船」を介して、それぞれの生活の中に定着し、その地域ごとの変化を遂げた民謡となっています。牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節など実際に演奏して同じ曲である民謡がどの様に地域によってアレンジされたのか、プロジェクターを用いながら明快に解説します。民謡が地域風土により変化することを深く知ることができます。



「北前船」

江戸時代から明治時代にかけて活躍した主に買積み廻船の名称。



佐渡おけさ



牛深ハイヤ節



津軽アイヤ節



阿波踊り

元は同じ曲が旅をすると、到着した場所で違う曲になる!

牛深ハイヤ節→佐渡おけさ→津軽アイヤ節→阿波よしこの

「牛深ハイヤ節」は本公演において、プロの演奏と、児童・生徒さんの手拍子、合いの手を合わせて賑やかに演奏します。

○民謡クイズ!



Q6 (この歌詞・方言・なんたらタイプ)民謡につかわれている方言を当ててみましょう!

ア. **だいろやーだいろだいろ**
 角出せ**だいろ**
 角を出さぬと曾根の
 代官所に申し上げるが
 いか**だいろ**

①牛 ②かたつむり ③奥さん ④カブトムシ

A. ② かたつむり / 岩室甚句(新潟民謡)



プロジェクターを使いクイズ形式で民謡を楽しみます。

正解はメンバーが唄って答えます。

パートⅢ 本公演に向けて

六、校歌から見える郷土と込められた思いを調べてみよう

各学校の校歌には、それぞれの郷土への思いや学校理念などが込められています。ワークショップから本公演を通して、その意味を知り、そして歌って郷土の素晴らしさを再発見してもらいます。

校歌の歌詞には、学校それぞれの風土や理念が込められています。
 ●●の清流、そびえる○○山、碧の渚、きずな強く、智徳、正義 などなど

あべやメンバーがいくつかのキーワードを選び、それらの地理や意味などを本公演で教えてもらえるようお願いいたします。

本公演

代表の児童・生徒さんによる発表。あべやも納得!

歌詞の意味をかみしめて、あべやメンバーが演奏。皆で大合唱。

普段なにげなく歌っている校歌には素晴らしいメッセージがあります。邦楽器演奏・体験を通して再発見することができます。

いそむ学び舎

仰げば高し

七、みんなでソーラン! ワークショップ編

一度は聴いたことのあるソーラン節。

踊り方と「合いの手(掛け声と手拍子)」を練習します。

本公演

あべやチーム+生徒代表三味線チーム+生徒代表太鼓チームの演奏に、
ワークショップで練習した踊りと合いの手を入れて、
全員参加の大ソーラン祭りを繰り広げます。



ハードッコイ



ヤーレン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン



ハイハイ

鎌来たかと 鶴つるに問えとば わたしわたくしゃ立つ鳥波つるなみに聞け



チョイ



ヤサエ エンヤンサー ハアア ドッコイショ



ドッコイショ ア ドッコイショ ドッコイショ

* ■は合いの手

パートⅣ 体験コーナー

八、『尺八』探求 学びと体験

竹に穴を開けた単純な構造ながら、その歴史はとても長く中国の唐の時代に生まれ、7世紀に日本に伝えられたすごい楽器です。



- 1** 5つの穴だけで3オクターブの音色を奏でる構造や、時に武器として使われたエピソードなどをご紹介します。
- 2** 先ずは尺八プロ奏者が吹いて、その奥深い音色を響かせます。
- 3** 代表者がチャレンジ。まず音が出ない・・・
※消毒済のチャレンジ用尺八を使用します。
- 4** プロがレクチャー。
- 5** もう一度先生がチャレンジ。少し音が出るかな・・・
- 6** プロはなんでも尺八にします。工事用の「塩ビ管」でも演奏できるんですよ。
- 7** ワークショップ後に皆で挑戦。教室でリコーダー、自宅のペットボトルで尺八の音を出してみよう。



九、津軽三味線を弾こう!

普通の生活では触れるチャンスがない津軽三味線。実際に抱えて、撥を持って、そして弾いてみましょう。





▲津軽三味線を体験する様子



叩こう!



触ろう!



踊ろう!

津軽三味線の他に、締め太鼓、銭太鼓、ささら、笠などをご用意します。
自由に触って、音を出してください。

ワークショップの様子



演奏



三味線聞き比べ



民謡の旅をする



三味線の説明

タイムスケジュール（標準）
※午前9:00～10:30ワークショップ公演の場合 スタッフ及び出演者到着・準備開始 8:00～8:40 生徒入場 8:40～9:00 ワークショップ ※ワークショップ中に先生とスタッフで本公演の打合せを行います 9:00～10:30 撤収 10:30～11:30

派遣者数
出演者: 3名 スタッフ: 1名 合計: 4名

学校における事前指導
特にワークショップの前に指導していただく内容はあります。

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社 三六屋
公演団体名	津軽三味線あべや

演目
新型コロナウイルス感染症防止対策【本公演】
○体験型または接触型の内容変更など
一、白狐の嫁入り 代表・児童生徒の参加割愛 または 演目割愛
八、太鼓教室 演目割愛
十二、安来節 客席へ降りてのパフォーマンスを割愛
十三、江戸寿獅子舞 客席へ降りてのパフォーマンスを割愛
十四、みんなどソーラン！本公演編 演目割愛
体験・展示ブース 手指の消毒を施した上での実施 または 展示のみ

本公演・プログラム

公演時間：90分

津軽三味線・民俗芸能 邦楽ユニットLIVE!



一、白狐の嫁入り

オープニング演出

客席よりサフライズ登場

黒澤明監督の映画「夢」のなかの1シーン「狐の嫁入り」をモチーフにしています。奏者と代表の生徒さんが白狐の面をかぶり、客席後方から登場し、舞台に向かってゆっくりと動いていきます。さらに後ろには虚無僧に扮した尺八奏者が続き、尺八の荘重な音色が客席を抜けてゆきます。その幻想的な雰囲気を見て楽しむのは勿論、ちぐはぐな行列の滑稽さと仕草が客席の笑いを誘います。

【使用楽器】尺八／太鼓



二、妖気太鼓

和太鼓

ちょっと怖いけど太鼓の迫力炸裂!

唸るような尺八の音にあわせて鬼の面をつけた奏者が登場します。

その出で立ちのまま、生徒さんの目の前に置かれた太鼓を激しく叩きます。和太鼓＋幻想という不思議な感覚で体育館をより一層非現実的な邦楽の世界へと変えてゆきます。

【使用楽器】和太鼓／尺八



三、輪五 津軽三味線&和太鼓 本格的な邦楽公演スタート!

いよいよ津軽三味線が演奏に加わります。徐々に太鼓と共に盛り上がり、賑やかな演奏を展開します。伊勢音頭と津軽じょんがら節を曲中に入れた楽曲は和の迫力と雅やかさを表現しています。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／尺八



四、尺八ソロ演奏 尺八 邦楽器の代名詞たる尺八の響き

尺八は中国唐の時代から今に伝わる伝統楽器。素材は竹のみというシンプルながら、音色は大変奥深いものがあります。伝統曲などを演奏して、その趣を響かせます。

【使用楽器】尺八



五、嵐 津軽三味線&尺八 体突き抜けるハイテンポな三味線と尺八の音色

津軽三味線と尺八の特異なコラボレーションです。それぞれの音色の融合が生み出す新しい和の音を追究した創作曲です。

【使用楽器】津軽三味線／尺八

六、津軽三味線曲弾き対決 津軽三味線 冴えるフリのテクニック

毎年行われている津軽三味線全国大会で実際に弾かれている技を駆使した対決をご覧ください。実力伯仲の津軽三味線奏者が一堂に介し、体育館を大会会場にみたく、それぞれの演奏技術を存分に発揮します。

【使用楽器】津軽三味線



七、「関東一番太鼓」 和太鼓 体育館を包む大迫力の重低音!

戦後に確立された現在の和太鼓の世界。その創成期につくられた「大江戸助六太鼓」の流れをくむ奏者によるオリジナル曲。荒々しい和太鼓の中に江戸の粋な小技を組み込んだ、まさに魅せる太鼓演奏です。

【使用楽器】和太鼓、小鼓

八、体験 太鼓教室 和太鼓体験 やってみると意外と難しい、、、楽しい体験!

和太鼓の体験コーナーです。挑戦する生徒さんには最初は簡単なリズムを、徐々に学年でレベルをわけ、複雑なリズムをたたいてもらいます。そして最後には代表の先生に登場してもらい、さらに難しいリズムをたたいていただく体験コーナーです。



【使用楽器】和太鼓

九、**地元の民謡** 民謡 **地元に伝わる誇りの民謡!**

地元やその地域に伝わる民謡をプロの民謡歌手と生徒さん、近隣の方、皆さんで唄い、地元の良さを再発見する民謡コーナーです。また得意な人は、舞台上に上がって唄ってみませんか?

【使用楽器】唄 他

十、**民謡で日本中をひとつとび!** 民謡 **日本全国唄の旅!**

民謡の世界を五感でお楽しみください。まずステップアップとして皆さんに手拍子で参加してもらいます。盆踊りで聞いたことのある唄、教科書で見たことのある唄など有名な民謡を厳選メドレーとして、日本全国を唄で旅します。

【使用楽器】唄 他



十一、**体験 牛深ハイヤ節** 民謡 (熊本県民謡) **思わず体が動きだす賑やかな曲!**

民謡に触れるステップ2として、唄の合間に入れる「唄囃子(合いの手)」で、みなさんに参加していただきます。

一度練習して、本番では低学年と高学年、生徒さんと先生などに分かれ“さっさあよいよい、よいさあよいさあ”とその威勢を競ってもらいます。

【使用楽器】唄 他

十二、**「安来節〜どじょう掬い〜** 神楽パフォーマンス (鳥根県民謡)

鳥根県を発祥とする「どじょう掬い」は、現在全国大会が開催される程、日本人が一度は見たことのあるパフォーマンスです。飛び出すように現れた踊り手は、様々な滑稽な仕草・表情を交えながら独特な踊りを演じます。

【使用楽器】津軽三味線/篠笛/唄/和太鼓



十三、**江戸寿獅子舞** 舞籠パフォーマンス

日本全国にはその地域に根ざした獅子舞があります。その中で江戸寿獅子は、その舞を見るだけで御利益があるとされています。後半では、獅子が客席を降りて、みなさんの頭・体をかじります。最後に舞い手が獅子舞の簡単な説明をします。獅子頭には雄と雌のちがいがあるのを知っていましたか?

【使用楽器】太鼓/鉦/篠笛



十四、^{体験} みんなでソーラン! 本公演編

みんなで踊って唄って、体育館を漁場に変えよう!

「あべやバンド」に加え、生徒参加! 津軽三味線10名、太鼓5名、唄囃子(合いの手) 踊り、手拍子、全校生徒で、『ソーラン節』を演奏します。WSで練習した事を発揮する 場面です。さらに当方でご用意した各校の大漁旗を代表者が舞台の真ん中で振り続 けます。全員で作り上げる、各校オリジナルの壮大な『みんなのソーランです。』

【使用楽器】津軽三味線/和太鼓/笛/唄



十五、校歌合奏 ^{ピアノ・津軽三味線・尺八} 校歌の歌詞の意味は? 成果発表そして合唱!

ワークショップの時にあべやのメンバーが質問をしました。

「校歌の歌詞の中の、この山はどんな山？」

「学び舎って何？」

「智徳ってどういう意味？」

代表の生徒さんに発表してもらいます。

さあ意味が理解出来たら、あべやメンバーが校歌演奏を プレゼント。皆で大きな声で歌ってください。

【使用楽器】津軽三味線/尺八/鉦 など



代表の児童・生徒さん(または先生)のピアノ演奏に合わせて、あべやメンバーが邦楽器で伴奏します▲

十六、津軽じょんがら節

津軽三味線・太鼓・民謡・尺八
邦楽ユミットクライマックス!

津軽三味線の代表曲「じょんがら節」を演奏します。激しい撥さばき、太鼓の重低音、華やかな民謡を織り交ぜた大曲です。邦楽公演の締めくくりとして、ふさわしい曲を奏者全員で心をこめて皆様にお届け致します。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／唄／尺八



十七、“フィナーレ”銭太鼓

舞踏パフォーマンス
おめでたい曲で、賑やかにハッピーに終わります!

昔から民衆の楽しみと労働の柔和で唄われてきた民謡は、人前で見せるというエンターテインメント性を追求するものにも発展していきました。その一つがアクロバティックに筒状の太鼓を回す「銭太鼓」です。賑やかな曲に合わせて、二本の銭太鼓を素早く操ります。最後は、児童・生徒さん、先生・近隣の方々の、これからの幸せを祈って、おめでたく華やかにエンディングを飾ります。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／銭太鼓／唄



※休憩を途中に入れる事も可能です。※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。

体験・展示ブース

開演前から、
終演後の余韻まで・7口の演奏を
聴いた興奮後もお自由にどうぞ!

三線・細棹三味線・津軽三味線を展示します。またワークショップで体験した銭太鼓やささらなどをご準備しますので、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧いただき、自由に触って、音を出してもらいます。

本公演で使用している
楽器などの展示。
自由に触れて体験できます。

【楽器 + “地元ブース”を設置】

地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背景などを展示します。また各校と相談の上、子供たちに伝え残したい物を展示。【漁網でも農機具でも、何でもいいです】



▲地域の方と共に地元の民謡や物産等を展示することで地元の風土を理解。



▲三味線のルーツを学べるコーナーです。ワークショップのおさらいに!

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者: 7名 スタッフ: 4名 合計: 11名 体育館の状況(階数・道具搬入距離)によっては、スタッフ1名増員有

タイムスケジュール (標準)				
前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間 (3時間程度)				
到着	仕込み	出演者到着	サウンド チェック	ソーラン節の 練習等
8時45分	9時00分～ 11時30分	11時00分	11時30分～ 12時00分	12時40分～ 13時00分
入場	本公演	内休憩	撤去	
13時10分～ 13時30分	13時30分～ 15時10分	10分	15時00分～ 17時00分	
※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。 ○本公演開始時間は、早める(13時00分など)ことが可能です。 ○午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。 ○体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。 ○ソーラン節等の練習は演奏及び、白狐の嫁入りに参加する児童・生徒さんのみです。				

実施校への協力依頼人員
なし

演目解説

【思わず体が動く日本の音】

電氣的な音質や派手なビジュアルの映像が溢れる現在において、児童・生徒さんは受動的に聴く観ることに偏りがちです。体を突き抜けるような津軽三味線の心地よい高音。会場を振動させる和太鼓の重低音。心に響く民謡の唄声。テレビやネットからでなく、自分たちの体育館を会場にした熱いライブでお楽しみいただきます。それらは必ず渦になって、児童・生徒さん達の五感に届きます。

【民謡は日本の風土に息づいている】

どの地域、場所にいても、そこで皆が口ずさむ民謡が必ず存在し、秋祭りや盆踊りなど昔からの行事の中に日本の音が溶け込んでいます。お祭りの時の心躍る太鼓の音、盆踊りのやぐらでかっこよく民謡を唄うお父さんの姿、その周りを皆で踊る高揚感・・・普通の日本人の生活風景の中に、民謡は存在するのです。さまざまな体験を通して、自分たちの地域の貴重な財産を呼び覚ましてほしいと願います。

【洋楽だけでなく日本の音も】

音楽指導者が洋楽出身の方が多く、日本の楽器の演奏を十分に習うことができない現実があります。ワークショップでは生徒さんが自分の手で津軽三味線、太鼓、諸楽器に触れて、その音色を体感し、本公演では迫力あるプロの演奏をメリハリのある番組編成でお楽しみいただく構成をしています。日本の音の魅力を凝縮した内容です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【本公演】参加プログラムが随所に！あべやと創る邦楽ライブ

○サプライズ演出！「白狐の嫁入り」に代表の児童・生徒さんが出演！

あらかじめ選ばれた3名の児童・生徒さんが、邦楽ライブのオープニング「白狐の嫁入り」の出演者として、客席中央を歩きます。



○太鼓を叩く

プロの太鼓奏者が使う太鼓を何名かの児童・生徒さんに実際に叩いてもらいます。練習無しでの演奏が即興的な楽しさを引き立てます。

○地元民謡を聴く・唄う！

各校さんに演奏希望の曲を伺い(リクエストがない場合でも、その地域の民謡を当方で選抜してご披露します)、その民謡を、あべやが唄い、津軽三味線・尺八・太鼓で演奏をつけます。得意な人は生徒さんでも先生でも、また近隣の人も舞台上で唄いましょう。

○民謡に参加

一度は聴いたことのある曲に合わせて、手拍子と唄囃子(合いの手)で参加し、会場全体で民謡を楽しみます。

○日本人だれもが知る「ソーラン節」を、全員参加で完成！

津軽三味線・太鼓を、代表者が演奏。さらに雰囲気を出すために、サプライズで用意した各学校オリジナル大漁旗が、舞台上で大きく振られます。他の児童・生徒さんは、元気な合いの手と唄で盛り上げる、全員参加のソーラン節。



○校歌を和楽器で演奏

ワークショップでは、校歌歌詞にある地名や言葉について、あべやが皆さんに質問し、本公演までに調べてもらえるようお願いをします。

本公演では、代表の児童・生徒さんの発表の後に、あべやメンバーが和楽器校歌演奏をお届けします。(代表の児童・生徒さんまたは先生にピアノ演奏で参加をしてもらいます)

校歌の意味を知って、和楽器バージョンの校歌演奏をバックに、大きな声で歌ってもらいます。

児童生徒とのふれあい

【体験・参加の仕方】

【ワークショップ】 弾こう！叩こう！唄おう！踊ろう！



○実際に音を出してみる！

触れるチャンスが少ない津軽三味線。実際に持って撥で弾いてみよう。

普段の生活では津軽三味線の弦を弾いて音を出す機会は皆無に等しいと思われれます。プロの演奏を聴く

だけ観ているだけでなく、児童・生徒さん自身がその重さを感じ、演奏の難しさを体験して、理解を深めてもらいます。

ささら・あたり鉦・銭太鼓・笠など民俗楽器をご用意

弦楽器の三味線・打楽器の太鼓だけが日本の楽器ではありません。先人の工夫から生まれた様々な音が出る道具があります。それらを展示し、自由に触って音を出してください。

○クイズから楽しく知る民謡

あべやメンバーによるプロジェクター投影とコミカルなトークのクイズ

北前船が佐渡、津軽の各港を辿りながら、全国に唄を伝えた変遷など、映像・トークを駆使して、立体的に理解してもらいます。

○児童・生徒さんのリクエストを即興演奏

児童・生徒さんから自由に希望曲を募る

ポップスから演歌まで、なんでも演奏?!します。



○ペットボトル、リコーダーを、尺八代わりに吹いてみる。

尺八と同じような音がでるか、全員で挑戦。

尺八プロの演奏 ⇒ 代表の先生が尺八を吹く ⇒ プロがレクチャー ⇒ 再度先生がチャレンジ ⇒ 児童・生徒さんが持参したペットボトルやリコーダーで、尺八風の音に挑戦。

プロの演奏を真似て、自分たちで音を出す楽しさを体験していただけます。

【本公演】参加プログラムが随所に！ あべやと創る邦楽ライブ

○サプライズ演出！「白狐の嫁入り」に代表の児童・生徒さんが出演！

あらかじめ選ばれた3名の児童・生徒さんが、邦楽ライブのオープニング「白狐の嫁入り」の出演者として、客席中央を歩きます。

○太鼓を叩く

プロの太鼓奏者が使う太鼓を何名かの児童・生徒さんに実際に叩いてもらいます。練習無しでの演奏が即興的な楽しさを引き立てます。

○地元民謡を聴く・唄う！

各校さんに演奏希望の曲を伺い(リクエストがない場合でも、その地域の民謡を当方で選抜してご披露します)、その民謡を、あべやが唄い、津軽三味線・尺八・太鼓で演奏をつけます。得意な人は生徒さんでも先生でも、また近隣の人も舞台上で唄いましょう。

○民謡に参加

一度は聴いたことのある曲に合わせて、手拍子と唄囃子(合いの手)で参加し、会場全体で民謡を楽しみます。

○日本人だれもが知る「ソーラン節」を、全員参加で完成！

津軽三味線・太鼓を、代表者が演奏。さらに雰囲気を出すために、サプライズで用意した各学校オリジナル大漁旗が、舞台上で大きく振られます。他の児童・生徒さんは、元気な合いの手と唄で盛り上げる、全員参加のソーラン節。



○校歌を和楽器で演奏

ワークショップでは、校歌歌詞にある地名や言葉について、あべやが皆さんに質問し、本公演までに調べてもらえるようお願いをします。

本公演では、代表の児童・生徒さんの発表の後に、あべやメンバーが和楽器校歌演奏をお届けします。
(代表の児童・生徒さんまたは先生にピアノ演奏で参加してもらいます)

校歌の意味を知って、和楽器バージョンの校歌演奏をバックに、大きな声で歌ってもらいます。

《本公演にて。こんなことがありました》 ～地元に着した民謡～

平成27年度 大分県宇佐市立糸口小学校 「糸口音頭」

体育館が盆踊りの会場に！？



▲一人が踊り出すと次々に皆、踊り出し、会場が盆踊り会場に。

舞台上はあべやの演奏で唄う保存会の会長さん。客席後方にいた地元の方が踊りながら、児童達の横をすぎます。その方に導かれ、一人の男の子が一緒に踊り始めます。音と踊りつられて、他の児童さん、また先生方が続々と立ち上がり、気が付くと体育館が盆踊りの会場になりました。

※学校さんより、本公演前日に演奏希望をいただきました。当日、メンバー全員でポータブルプレイヤーを囲んで大急ぎでアレンジして、演奏を成功させました。

